

令和5年10月26日

第22回淡路島創作料理コンテスト
テーマ『島弁当』

趣意書

一般社団法人 淡路島観光協会
会長 木下 学
淡路島創作料理コンテスト
実行委員長 山奥 晃正

古来より山海の幸に恵まれた「御食国」として朝廷へ食材を献上していた淡路島は、豊富な素材に恵まれる素晴らしい食の島です。

淡路島創作料理コンテストは、豊かな食材を活かした創作力を募集し、食の魅力を島内外へ発信していくことを目的としています。平成15年から始まったこの大会は、今回で22回目を迎えることになりました。これもひとえに皆様のご支援、ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

これまでに、多くの食材・郷土料理・デザートなどをテーマとして開催し、優秀作品は実際にお客様にご提供させていただいております。

さて、新型コロナウイルスは5類に移行となり、以前の生活に戻りつつあります。厳しい状況下でも淡路島においては、新たな施設・店舗が増えました。個人のお客様は増加傾向にあり、団体旅行のお客様も回復しつつあります。2025年には大阪・関西万博の開催を控え、インバウンドのお客様の増加も予想されます。

また淡路島は宿泊・グルメ・観光の人気スポットとして、メディアで多く取り上げられるようになりました。淡路島の食材を使ったお店・料理・スイーツは関西圏だけでなく、全国より注目を集めています。そんな淡路島から「食」の話題を全国へ向けて発信し、お客様に来島のきっかけにしたいと考えております。

そこで今回は、新しい取り組みとして「島弁当」をテーマに「第22回淡路島創作料理コンテスト」を開催いたします。淡路島の食材・郷土料理・地域の特色をいろんな形で「島弁当」としてお弁当箱に凝縮し、新たな淡路島の名物にしていきたいと考えております。

つきましては、趣旨にご理解とご賛同いただき、ジャンルにとらわれない自由な発想で、創作料理をご応募頂きますようお願い申し上げます。